

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく古賀店		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日 ～ 令和7年 2月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日 ～ 令和7年 2月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別指導の形態で行われる、OTやST、保育士、児童指導員による専門的な支援の実施。	保護者の方からの詳細な聞き取りに加え、J-MAP、LCSA言語コミュニケーション発達スケール等、必要に応じたアセスメントを実施し実態に即した支援を行なうようにする。	職員研修を充実させて最新の知見の収集に努め、より専門性の高い支援が実施出来るようにする。
2	1対1の個別指導で、基本送迎は保護者が行うという形態であるため保護者からの相談に随時対応することが出来る。	来室時に相談された事柄については、なるべくその日の課題の中に、解決に向けた内容を盛り込むなどして、即座に対応するように努める。指導後に相談されたことに関しては、家庭での対応方法をお話する、次の指導日の課題として準備しておくようにする、等必ず何かしらの手立てを講じる。	家庭での困り感の軽減に向けて、保護者や利用児の様子に気を配り、常に相談しやすい雰囲気を作るように留意するとともに、相談してよかったと思って頂けるような対応ができるように、子どもの発達、生活全般に渡る支援方法について検討する機会を増やす。
3	OTやSTにより行われる保育所等訪問支援の実施	保護者の方からのご希望や心配事等について詳細に聞き取り、在籍園や学校と共有すべきアセスメント等の情報を準備した上で訪問する。また、効果的だと思われる教材教具や環境調整について、具体的にお伝えできるよう努める。	在籍園・学校の要望により適切に対応できるように、連絡体制の整備を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ブレイルーム等指導室のスペースが手狭である。	指導形態が1対1の個別指導であるということを鑑みて、建物自体の広さは、当初の予定では適切だと考えていたが、高学年の在籍児童が増え、活動内容が多岐に渡るようになった現在では手狭に感じられる方もおられるようになってきた。	広いスペースを必要とする、大きく体を使った遊びを実施する際は、公民館を借りるなど、地域の資源を活用していくことを検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 【児童発達支援】

事業所名 良創夢発達支援ルーム らいく古賀店

公表日 令和7年 4月 1日

利用児童数 24名

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		現在のスペースでお子様方に満足して頂ける活動が提供できるように、工夫を凝らしながらプログラムを考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	88%	6%	0%	6%		当事業所では、言語聴覚士や作業療法士、保育士、児童指導員が支援を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく過ごしやすい環境になっており、お子さんの特性に応じた配慮がなされていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		身体を動かす活動はプレイルームで、机上課題に取り組む際は個室で、と、活動内容によって場所を変えています。
適切な 支援の 提供	4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	13%	0%	0%		お一人お一人に応じた適切な支援が出来るように、OT,ST,保育士とそれぞれの専門性を生かして日々努力しております。
	5	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		その時々のお子様の状況や保護者の方々のご要望によって多少の変更はありますが、基本は支援プログラムに沿って支援内容を決定するようにしております。
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	88%	13%	0%	0%		お子さまの状況や保護者様からのご意見をふまえて、また必要に応じてアセスメントを行いながら、個別支援計画を作成しています。今後もお子様の成長に沿った支援ができるように努めてまいります。
	7	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容からお子様の支援に必要な項目を設定し、その上で、具体的な支援内容が設定するように努めております。
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		その時々のお子様の状態や保護者の方々からのご要望によって多少の変更があることもありますが、基本は個別支援計画に従って支援を実施しております。
	9	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88%	0%	0%	6%		お子様のニーズや困り感に合わせて活動を考えるようにしています。一つの目標に対してもアプローチを変えて支援するなど、お子さまが飽きないよう工夫しています。
	10	地域に出て活動するような機会があると思いますか。	75%	6%	6%	13%	施設内で終わっている為。	当事業所は、おひとり1時間の個別指導という性質上、中々外に出て活動するという機会は少ないのが現状ですが、祝日等に実施している小集団での活動の際、近くの神社や公民館に出かけていくこともあります。
	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	94%	6%	0%	0%		運営規定、支援プログラム、利用者負担につきましては、初回契約時にご説明しております。
	12	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	6%	0%	0%		個別支援計画書をご提示しながら支援内容の説明を実施し、ご理解頂くように努めております。
	13	事業所では、必要に応じて保護者向けの研修会の案内や情報提供などの家族支援・兄弟支援が行われていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		保護者の皆様に役立ちそうな研修会などのご案内は適宜LINE等にてお知らせさせていただいております。また、ご兄弟への支援につきましては、ご希望された場合にご兄弟も交えた療育を実施する等の支援を行っております。
	14	事業所とは、日頃からこどもの状況を伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		送迎は保護者の皆様であるという利点を生かして、ご利用の際には必ずお子さんの状況をお尋ねし、細かな所まで共通理解出来るように努めております。

保護者への説明等	15	必要に応じて、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88%	6%	6%	0%		面談等ご希望や必要に応じて随時実施しております。また、送迎の際に保護者の方々からお聞きした困りごとには、即対応するように努めておりますので、遠慮なくお申し付けください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	88%	0%	6%	6%		お子さまや保護者の皆様のお気持ちに寄り添いながら、コミュニケーションや情報交換に努めております。
	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されており、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	0%	6%	0%		ご相談についてはご利用日以外であっても、お電話やLINEにて随時受け付けております。家庭訪問も可能です。ご相談や申し入れが合った際には、迅速に対応いたしますので、どうぞご遠慮なくご連絡ください。
	18	こどもや保護者と必要な時に即連絡を取り合うことが出来るような、意思疎通や情報伝達のための手立てが確保されていると思いますか。	94%	0%	6%	0%		らいく古賀店では、ご利用の皆様とLINEでのやりとりを行っております。欠席等の連絡から何かあった時の相談まで、どのような時でもご活用ください。
	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていると思いますか。	69%	19%	6%	6%		らいく古賀店では、ホームページやインスタグラムなどによる情報発信を行っております。
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	81%	6%	0%	13%		個人情報には注意して取り扱っております。
非常時等の対応	21	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	81%	0%	0%	19%		一昨年度より「防災のしおり」を作成し、災害や感染症への対応についてご利用者の皆様にお知らせしております。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し掲示しておりますので、皆様にご覧頂けるよう、重要事項の説明をする際に併せて掲示物の説明をして参ります。
	22	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難等、必要な訓練が行われ安全の確保が十分なされた上で、支援が実施されていると思いますか。	81%	0%	0%	19%		避難訓練等につきましては、個別指導という性質上、利用者全員での実施は難しいため、今年は一部のお子様と実施しました。職員全員で緊急時対応マニュアルに沿って避難経路等を確認し役割分担するなど、有事の際に速やかに対応できるよう努めております。
	23	些細であっても、怪我など思いがけない出来事が発生した際には、その際の状況等について速やかに連絡や説明がなされていると思いますか。	94%	0%	6%	0%		療育中には怪我等無いよう細心の注意を払っておりますが、思いがけない出来事が起きた場合は、必ずお迎えの際にご説明しております。
満足度	24	こどもは安心感をもって通所していますか。	94%	6%	0%	0%		お子さまの特性をふまえて、またその時々状況に応じて、お子さんの安心に繋がるよう支援しております。今後もお子さまが安心して過ごせるような支援ができるよう努めて参ります。
	25	こどもは通所を楽しみにしていますか。	94%	0%	0%	6%		お子さまが通所を楽しみにして下さるような支援ができるよう、努めて参ります。
	26	事業所の支援に満足していますか。	94%	0%	6%	0%		年々ご利用者が増えていて、毎年どうすれば皆さまのご希望に添える形が作れるのだろうか、と工夫をこらしながら日々の指導に当たっております。今後も皆様に満足頂けるような支援を目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果 【児童発達支援】

事業所名		公表日				
良創夢発達支援ルーム らいく古賀店		令和7年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	遊具や部屋の使い方を工夫しながら満足して頂けるよう努めています。	法令を遵守した活動スペースを確保していますが、高学年の利用者様には手狭な感じは否めません。外部の施設などの活用を検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		適切であると感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		現状では適切であると考えます。ご利用者様にご不便な点等ございましたら、その都度対応していきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日業務終了時に職員全員で清掃を実施し、環境整備を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要な場合には、別の部屋を使うことが可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議の中で業務を振り返り、問題点の抽出や改善案を挙げ、職員全員、業務改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	実施したアンケートは職員全員で目を通し、保護者様の評価やご意見を把握したうえで、業務改善に繋げていくよう努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に管理者との面談の時間を設け、職員一人一人の意見を把握するように努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	職員一人ひとりが常にご利用者様の利益を保证することを念頭に置き、知識やスキルの向上に努めております	第三者機関からの外部評価は法律上の義務ではないことから、現在行っておりません。必要性が出て来た際に検討したいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	0%	研修に参加した職員からの伝達講習や専門職員による内部研修を行っております。また、参考になる資料など情報をの得た場合、全員で共有するように努めています。	勤務体制の都合上、年に何回かは職員全員で研修を受けるという時間の確保が難しいという状況があります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	適切に作成し、公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	WISC、JSI-R、LCSAなどを用いながら必要に応じてアセスメントを行い、サービス計画を立てるようしております。	ご利用者様の状況や保護者様からの要望等、必要に応じてアセスメントを行い、サービス計画を立てるようしております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	常にお子さまの最善の利益が得られるようにと考え、支援計画を立案しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画に則り、その時々で必要な支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	JSI-R、JF-MAP、WISC、構音検査など各種アセスメントツールを使用して多角的に現状を正しく把握し、適切な支援が行えるよう努めております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	必要な項目を適切に設定し、支援内容を具体的に設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	個別指導の詳細なプログラムの立案は、その日に担当する職員が行っています。少人数グループにおいてはチームで話し合って活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動プログラムは当日のご利用者様のご様子や保護者様からのご相談事等も取り入れながら、実施するようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	当事業所は個別療育を主に行っておりますが、ご要望やご利用者様の状況に合わせた少人数グループも取り入れております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	個別指導の為、お一人につき職員1人又は2人で指導を行っております。記録を確認したり、必要に応じて事前の打ち合わせを行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	個別療育の中で気づいたこと等は必ず個人記録に記載しています。また、職員全員で共有すべき事項については申し送り時や会議の中で最善の支援が行えるよう体制を整えております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回、活動内容と活動時の様子、今後の課題などを記録しています。記録は次回の支援に生かせるような内容になるよう心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児童発達管理責任者を中心に職員全員で行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	ご利用者様の状況に精通した職員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の関係機関とは、必要な時にすぐに連携できるような体制が整っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	お子様が在籍園で生き生きと過ごすことが出来るようにというインクルージョンの観点を常に念頭に置きながら支援にあたっております。	訪問支援や担当者会議等の際に支援目標や支援内容等、詳細に情報交換を実施するように努めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	当事業所は多機能型事業所であり、就学前から学童期、青年期まで継続した支援を行っております。 必要に応じ、関係機関との情報共有を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	75%	25%	その時々が必要に応じて、各地域の支援センターなど専門機関と連携して助言や研修を受けています。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%		当事業所は、おひとり1時間の個別指導という性質上、外に出て活動するという機会は少ないのが現状ですが、祝日等を実施している小集団での活動の際、近くの神社や公民館に出かけていくこともあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	指導終了後には、ご利用者様の様子や課題の内容について報告し、保護者様と共通理解できるよう努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者様の日常生活での困り事などに対しては、即座に対応するよう努め、不安なく子育てができるように支援することを心掛けています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	当事業所は個別指導であり送迎も保護者が基本という点を生かして、常日頃より細やかに意向を伺いながらサービスを提供しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様からサービス計画の同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者向けの研修を実施した際に保護者同士の交流ができる時間を設けました。	コロナ感染対策として近年は保護者会実施を見送っておりますが、必要に応じて保護者様同士が繋がるような支援をしています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	実施しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	保護者様へはLINE・ホームページ・Instagram等を活用し、その都度情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	取り扱いは十分に注意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	LINE等を使いながら、意思の疎通や情報伝達に努めています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	38%	町内会には加入しており、お祭りの際に廻って来られる子ども神輿の皆様とは、少しですが触れ合うような時間を設けさせて頂いております。	当事業所はお一人1時間の個別指導という性質上地域の方々を招待するような行事は開催しておりません。今後の検討事項としたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	全てのマニュアルを作成し玄関に掲示しております。また、防災マニュアルを作成し保護者の皆様へお配りしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	BCPを策定し、避難訓練等も実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	来室された際には必ず、体温測定などのバイタルチェックや保護者の方々への体調確認を実施しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	38%	38%	食べ物を提供する際は、保護者様にアレルギーの有無等をお尋ねして対応しております。	お一人1時間の個別指導という性質上、食事の提供をする機会はほとんどありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	0%	安全計画を策定し、必要な措置は講じております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	0%	お子様の安全確保に関して、ご家族との連携が図られるよう、『防災のしおり』を作成し、ご利用者全員にお配りしております。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた場合、記録を残して、今後の対応策をスタッフ全員で共有し、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	担当職員が研修を受け、それを職員全員が周知できるよう伝達講習を行っております。	重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明して了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明し了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく古賀店		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日 ～ 令和7年 2月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56 (回答者数)	36
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日 ～ 令和7年 2月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別指導の形態で行われる、OTやST、保育士、児童指導員による専門的な支援の実施。	保護者の方からの詳細な聞き取りに加え、J-MAP、LCSA言語コミュニケーション発達スケール等、必要に応じたアセスメントを実施し実態に即した支援を行なうようにする。	職員研修を充実させて最新の知見の収集に努め、より専門性の高い支援が実施出来るようにする。
2	1対1の個別指導で、基本送迎は保護者が行うという形態であるため保護者からの相談に随時対応することが出来る。	来室時に相談された事柄については、なるべくその日の活動の中に解決に向けた内容を盛り込むなどして、即座に対応できるように努め、指導後に相談されたことに関しては家庭での対応方法をお話したり、次の指導日の課題として準備したりしておくようにする。	家庭での困り感の軽減に向けて、保護者や利用児の様子に気を配り、常に相談しやすい雰囲気を作るように留意するとともに、相談してよかったと思って頂けるような対応ができるように、子どもの発達、生活全般に渡る支援方法について検討する機会を増やす。
3	OTやSTにより行われる保育所等訪問支援の実施	保護者の方からのご希望や心配事等について詳細に聞き取り、在籍園や学校と共有すべきアセスメント等の情報を準備した上で訪問する。また、効果的だと思われる教材教具や環境調整について、具体的にお伝えできるよう努める。	在籍校・学校の要望により適切に対応できるように、連絡体制の整備を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ブレイルーム等指導室のスペースが狭い。	指導形態が1対1の個別指導であるということを鑑みて、建物自体の広さは、当初の予定では適切だと考えていたが、高学年の在籍児童が増え、活動内容が多岐に渡るようになった現在では手狭に感じられる方もおられるようになってきた。	広いスペースを必要とする、大きく体を使った遊びを実施する際は、公民館を借りるなど、地域の資源を活用していくことを検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 【放課後等デイサービス】

事業所名	良創夢発達支援ルーム らいく古賀店
------	-------------------

令和7年 4月
公表日 1日
利用児童
数 56名

登録数

56

回収率

64%

回収でき
た枚数

36

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%	17%	3%	6%	本当に色々な事を工夫していただいています。もっとスペースがあればさらにスタッフの方も活動しやすく、そうなると療育の幅もひろがりさらにいいと思います。もう少し広かったり、公園やグラウンドでの活動あると、嬉しいです。	現在のスペースでお子様に満足して頂ける活動が提供できるように、工夫を凝らしながらプログラムを考えていきます。今後は、必要に応じて公園やグラウンドでの活動も取り入れていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	92%	0%	0%	8%	とても細やかに対応していただいていますがもっともっと利用回数も増やしたい方も多いと思います。	当事業所では、言語聴覚士や作業療法士、保育士、児童指導員が支援を行っています。利用回数に関しては、個別指導という性質上、現状では、残念ながら増やすための枠を確保することが難しい状況です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく過ごしやすい環境になっており、お子さんの特性に応じた配慮がなされていると思いますか。	89%	3%	0%	8%	活動と学習と部屋が別れていて切り替えもうまいと思います。	身体を動かす活動はプレイルームで、机上課題に取り組む際は個室で、と、活動内容によって場所を変えています。
適切 な 支 援 の 提 供	4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	3%	0%	3%	療育内容だけでなく学校、家庭の相談にも対応頂き本当に助かっています。個別対応なので、非常にそう思う。	嬉しいご感想、ありがとうございます。お一人お一人に応じた適切な支援が出来るように、今後も努めていきたいと思っています。
	5	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	プログラム内容がしっかりしているもので家や学校では出来ない事もいろいろでは出来ていたり本人もいろいろはやると気持ちもかわっているようです。	その時々のお子様の状況や保護者の方々のご要望によって多少の変更はありますが、基本は支援プログラムに沿って支援内容を決定するようにしております。
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%	とても助かってます。	お子さまの状況や保護者様からのご意見等をふまえて、また必要に応じてアセスメントを行いながら、個別支援計画を作成しております。今後もお子さまの成長に沿った支援ができるよう努めてまいります。
	7	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容から、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」で示す支援内容からお子様の支援に必要な項目を設定し、その上で、具体的な支援内容が設定するように努めております。
	8	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97%	3%	0%	0%		その時々のお子様の状態や保護者の方々からのご要望によって多少の変更があることもありますが、基本は個別支援計画に従って支援を実施しております。
	9	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	86%	6%	0%	8%		お子様のニーズや困り感に合わせて活動を考えるようにしています。一つの目標に対してもアプローチを変えて支援するなど、お子さまが飽きないように工夫しています。
	10	地域に出て活動するような機会があると思いますか。	42%	19%	6%	33%	質問の意味が分かりませんでした。	当事業所は、おひとり1時間の個別指導という性質上、中々外に出て活動するという機会は少ないのが現状ですが、祝日等に実施している小集団での活動の際、近くの神社や公民館に出かけていくこともあります。
	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97%	3%	0%	0%		運営規定、支援プログラム、利用者負担につきましては、初回契約時にご説明しております。
	12	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		個別支援計画書をご提示しながら支援内容の説明を実施し、ご理解頂くように努めております。

保 護 者 へ の 説 明 等	13	事業所では、必要に応じて保護者向けの研修会の案内や情報提供などの家族支援・兄弟支援が行われていると思いますか。	75%	14%	3%	8%		保護者の皆様に役立つような研修会などのご案内は適宜LINE等にてお知らせさせていただいております。また、ご兄弟への支援につきましては、ご希望された場合にご兄弟も交えた療育を実施する等の支援を行なっております。
	14	事業所とは、日頃からこどもの状況を伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		送迎は保護者の皆様であるという利点を生かして、ご利用の際には必ずお子さんの状況をお尋ねし、細かな所まで共通理解出来るように努めております。
	15	必要に応じて、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	3%	0%	3%		面談等のご希望や必要に応じて随時実施しております。また、送迎の際に保護者の方々からお聞きした困りごとには、即対応するように努めておりますので、遠慮なくお申し付けください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	97%	3%	0%	0%		お子さまや保護者の皆様のお気持ちに寄り添いながら、コミュニケーションや情報交換に努めております。
	17	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されており、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	0%	0%	6%		ご相談についてはご利用日以外であっても、お電話やLINEにて随時受け付けております。家庭訪問も可能です。 ご相談や申し入れが合った際には、迅速に対応いたしますので、どうぞご連絡ください。
	18	こどもや保護者と必要な時に即連絡を取り合うことが出来るような、意思疎通や情報伝達のための手立てが確保されていると思いますか。	97%	0%	0%	3%		らくい古賀店では、ご利用の皆様とLINEでのやりとりを行っております。欠席等の連絡から何かあった時の相談まで、どのような時でもご利用ください。
	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていると思いますか。	61%	22%	0%	17%	見たことがない。	らくい古賀店では、ホームページやInstagramなどによる情報発信を行っております。
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		個人情報には注意して取り扱っています。
非 常 時 等 の 対 応	21	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	83%	8%	6%	3%		一昨年度より「防災のしおり」を作成し、災害や感染症への対応についてご利用者の皆様にお知らせしております。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し掲示しておりますので、皆様にご覧頂けるよう、重要事項の説明をする際に併せて掲示物の説明をして参ります。
	22	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難等、必要な訓練が行われ安全の確保が十分なされた上で、支援が実施されていると思いますか。	58%	22%	0%	19%		避難訓練等につきましては、個別指導という性質上、利用者全員での実施は難しいため、今年は一部のお子様と実施しました。職員全員で緊急時対応マニュアルに沿って避難経路等を確認し役割分担するなど、有事の際に速やかに対応できるよう努めております。
	23	些細であっても、怪我など思いがけない出来事が発生した際には、その際の状態等について速やかに連絡や説明がなされていると思いますか。	86%	6%	0%	8%	らくいで怪我などをしたことがないのでわかりません。	療育中には怪我等無いよう細心の注意を払っておりますが、思いがけない出来事が起きた場合は、必ずお迎えの際にご説明しております。
満 足 度	24	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		お子さまの特性をふまえて、またその時々状況に応じて、お子さんの安心に繋がるよう支援しております。 今後もお子さまが安心して過ごせるような支援ができるよう努めて参ります。
	25	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92%	8%	0%	0%		お子さまが通所を楽しみにして下さるような支援ができるよう、努めて参ります。

26	事業所の支援に満足していますか。	92%	8%	0%	0%	長期休みの利用時間がもう少し長いと、自立にも繋がるかなと思います。 。を押ししましたが、黒丸印にならなかったです。支援に満足します。	年々ご利用者が増えていて、毎年どうすれば皆さまのご希望に添える形が作れるのだろうか、工夫をこらしながら日々の指導に当たっております。長期休みの際のパログラムにつきましては、ご希望を伺いながら検討していきたいと思います。

公表 所における自己評価結果 【放課後等デイサービス】

登録数 8 回収率 100%

回収 8
できた枚数

事業所名		公表日		令和7年 4月 1日	
良創夢発達支援ルーム らいく古賀店					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	少人数でのグループ活動を計画する際は、地域の公民館などを借りて実施するようにしています。	法令を遵守した活動スペースを確保していますが、高学年の利用者様には手狭な感じは否めません。遊具や部屋の使い方を工夫しながら満足して頂けるよう努めています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		適切であると思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		現状では適切であると考えます。ご利用者様にご不便な点等ございましたら、その都度対応していきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日業務終了時に職員全員で清掃を実施し、環境整備を行っております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	必要な場合には、別の部屋を使うことが可能です。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議の中で業務を振り返り、問題点の抽出や改善案を挙げ、職員全員、業務改善に努力しております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	実施したアンケートは職員全員で目を通し、保護者様の評価やご意見を把握したうえで、業務改善に繋げていくよう努めております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に管理者との面談の時間を設け、職員一人一人の意見を把握するように努めております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	職員一人ひとりが常にご利用者様の利益を保证することを念頭に置き、知識やスキルの向上に努めております	第三者機関からの外部評価は法律上の義務ではないことから、現在行っておりません。必要性が出て来た際に検討したいと思っています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修に参加した職員からの伝達講習や専門職員による内部研修を行っております。また、参考になる資料など情報を得た場合、全員で共有するように努めています。	勤務体制の都合上、年に何回もは職員全員で研修を受けるという時間の確保が難しいという状況があります。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	適切に作成し、公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	WISC、JSI-R、LCSAなどを用いながら必要に応じてアセスメントを行い、サービス計画を立てるようにしております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	常にお子さまの最善の利益が得られるようにと考え、支援計画を立案しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画に則り、その時々で必要な支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	JSI-R、J-MAP、WISC、LCSAなど各種アセスメントツールを使用して多角的に現状を正しく把握し、適切な支援が行えるよう努めております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	必要な項目を適切に設定し、支援内容を具体的に設定しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	個別指導の詳細なプログラムの立案は、その日に担当する職員が行っています。少人数グループにおいてはチームで話し合って活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	活動プログラムは当日のご利用者様のご様子や保護者様からのご相談事等を取り入れながら、臨機応変に実施するようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	当事業所は個別療育を主に行っておりませんが、ご要望やご利用者様の状況に合わせた少人数グループも取り入れております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	個別指導の為、お一人につき職員1人又は2人で指導を行っております。記録を確認したり、必要に応じて事前の打ち合わせを行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	個別療育の中で気づいたこと等は必ず個人記録に記載しています。また、職員全員で共有すべき事項については申し送り時や会議の中で最善の支援が行えるよう体制を整えております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎回、活動内容と活動時の様子、今後の課題などを記録しています。記録は次の支援に生かせるような内容になるよう心掛けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児童発達管理責任者を中心に職員全員で行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	どなたにも、基本活動を適宜組み合わせながら支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	運動遊びをする際も、机上活動に取り組む際も、お子さまが自分で選ぶ、自分で決めるという場面を多く作るような支援を行っております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	ご利用者様の状況に精通した職員が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の関係機関とは、必要な時にすぐに連携できるような体制が整っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	当事業所では送迎は行っていない為、左記の事柄についての情報共有は行っておりません。しかし、保育所等訪問支援を行っていることもあり、ご利用者様の特性理解、適切な対応方法などについて、関係機関との連携は必要に応じて行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	当事業所は多機能型事業所であり、就学前から学童期、青年期まで継続した支援を行っております。必要に応じ、関係機関との情報共有を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	0%	必要に応じて、障害福祉サービス事業所等への移行時には連携を図って行きたいと思っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	88%	13%	その時々が必要に応じて、各地域の支援センターなど専門機関と連携して助言や研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	63%	38%	町内会には加入しており、お祭りの際に廻って来られる子ども神輿の皆様とは、少しでも触れ合うような時間を設けてさせて頂いております。	個別指導という体制上、地域のお子様と交流するような機会はほとんどありませんが、季節によっては地域のお祭りに参加することなどがあります。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	13%	各種協議会の案内が届いた場合、担当職員が参加しております。内容を職員全員が周知徹底するよう努めております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	指導終了後には、ご利用者様の様子や課題の内容について報告し、保護者様と共通理解できるよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者様の日常生活での困り事などに対しては、即座に対応するよう努め、不安なく子育てができるように支援することを心掛けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	全ての項目に渡って丁寧に説明を行っております。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	当事業所は個別指導であり送迎も保護者が基本という点を生かして、常日頃より細やかに意向を伺いながらサービスを提供しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様からサービス計画の同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	コロナ等感染症対策として近年は保護者会実施を見送っておりますが、必要に応じて保護者様同士が繋がるような支援をしております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付については受付窓口と第三者委員会を定め、ご意見受付ボックスを設置するなどしております。指導内容等のご要望については職員間で検討し、次の指導日に即改善できるよう努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	保護者様へはLINE・ホームページ・Instagram等を活用し、その都度情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	取り扱いには十分に注意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	LINE等を使いながら、意思の疎通や情報伝達に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	63%	25%	自治会には加入しており、お祭りの際に廻って来られる子ども神輿の皆様とは、少しでもが触れ合うような時間を設けさせて頂いております。	当事業所はお一人1時間の個別指導という性質上地域の方々を招待するような行事は開催しておりません。今後の検討事項としたいと思います。
非常時	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	全てのマニュアルを作成し玄関に掲示しております。また、防災マニュアルを作成し保護者の皆様へお配りしております。	1対1の個別指導という形態であることからご利用者全員での避難訓練はできないという状況があります。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	88%	13%	BCPを策定し、避難訓練等も実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	入室された際には必ず、体温測定などのバイタルチェックや保護者の方々への体調確認を実施しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25%	38%	食べ物を提供する際は、保護者様にアレルギーの有無等をお尋ねして対応しております。	お一人1時間の個別指導という性質上、食事の提供をする機会ほとんどありません。
非常時	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、必要な措置は講じております。	

等 の 対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	お子様の安全確保に関して、ご家族との連携が図られるよう、『防災のしおり』を作成し、ご利用者全員にお配りしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた場合、記録を残して、今後の対応策をスタッフ全員で共有し、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	担当職員が研修を受け、それを職員全員が周知できるよう伝達講習を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明し了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らいく		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 24日		令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日		令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 24日		令和7年 2月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14	(回答数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別指導の形態で行われる、OTやST、保育士、児童指導員による専門的な支援の実施。	保護者の方からの詳細な聞き取りに加え、J-MAP、LCSA言語コミュニケーション発達スケール等、必要に応じたアセスメントを実施し実態に即した支援が訪問先でも行なわれるようにする。	職員研修を充実させて最新の知見の収集に努め、より専門性の高い支援が実施出来るようにする。
2	1対1の個別指導で、基本送迎は保護者が行うという形態であるため保護者からの相談に随時対応することが出来る。	園・学校生活について相談された事柄については、なるべくその日の活動の中に解決に向けた内容を盛り込むなどして、即座に対応できるように努め、訪問支援の際には各担任教諭との情報交換を丁寧に実施して、問題解決の糸口をつかむようにする。	園・学校での困り感の軽減に向けて、保護者や利用児の様子に気を配り、常に相談しやすい雰囲気を作るように留意するとともに、相談してよかったと思って頂けるような対応ができるように、子どもの発達、園・学校生活全般に渡る支援方法について検討する機会を増やす。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に対応できる日にちが限られている。	希望者数に対して、対応できる人員が少ない	訪問支援員の増員
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果 【保育所等訪問支援】

事業所名	良創夢発達支援ルーム らいく古賀店
------	-------------------

公表日 令和7年 4月 1日
利用児童数 27名
回収数 15

登録数

27

回収率

56%

回収できた枚数

15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	60%	0%	0%	40%		ケースによって必要なものは異なるので、状況に応じて教材や教員を用意しています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	80%	7%	0%	13%		面接を実施する際は、個室にて行っております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		事業の目的は適切に説明いたしております。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	87%	7%	0%	7%		保育所等訪問支援をご希望される方の増加により、頻度や時間については、訪問先のご都合と、訪問支援が可能な日程とをすり合わせた上で決定させて頂くことが多くなっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	87%	0%	0%	13%		OTとSTが対応しており、適切であると考えます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	100%	0%	0%	0%		OTとSTが専門性を生かして対応しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	100%	0%	0%	0%		WISC、JSI-R、LCSAなどを用いながら必要に応じてアセスメントを行い、サービス計画を立てるようにしております。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	80%	7%	0%	13%		訪問先施設や担任の先生方のご意向を伺った際は、必ず取り入れるように努めております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	87%	0%	0%	13%		保育所等訪問支援計画は、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」を踏まえて策定しております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	93%	0%	0%	7%		支援計画に則り、その時々で必要な支援を行っております。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	80%	7%	0%	13%		保育所等訪問支援を実施する際は、必ず訪問先施設に配慮した支援を行うように心掛けております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		全ての項目に渡って丁寧に説明を行っております。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	93%	0%	0%	7%		保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	87%	0%	0%	13%		ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者様の日常生活での困り事などに対しては、即座に対応するよう努め、不安なく子育てができるように支援することを心掛けています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	100%	0%	0%	0%		訪問支援終了後には、ご利用者様の様子や課題の内容について報告し、保護者様と共通理解できるよう努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		毎回の療育後に保護者様とはお子様の現状や発達の課題等についてお話しするようにしています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	100%	0%	0%	0%		お子さまや保護者の皆様のお気持ちに寄り添いながら、コミュニケーションや情報交換に努めております。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		ご相談についてはご利用日以外であっても、お電話やLINEにて随時受け付けており、家庭訪問も実施しております。 ご相談や申し入れが合った際には、迅速に対応するように努めております。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	93%	0%	0%	7%		らくい古賀店では、ご利用の皆様とLINEでのやりとりを行っております。欠席等の連絡から何かあった時の相談まで、どのような時でもご活用ください。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	93%	0%	0%	7%		ご相談を頂いた際には、OT、STそれぞれの専門性を生かして、お答えするように努めております。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	保育所等訪問支援の実施後には、必ず訪問先の先生と、お子さまの現状や課題、対応方法などについての情報交換や意見交換を実施しております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	保育所等訪問支援の実施後には、必ず保護者様へ、お子さまの園・学校での様子や課題、今後の支援などについてお話するようにしております。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	60%	7%	0%	33%	ホームページやInstagramを使って活動概要等について発信しております。またLINEを開設して日々の連絡を行っています。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	個人情報の取扱いには十分に留意しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	73%	0%	0%	27%	緊急時の対応については、訪問先施設と連携して対応するようにしております。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87%	7%	0%	7%	安全計画を策定し、安全管理に配慮しながら支援を行なっております。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	93%	7%	0%	0%	お子さまにとって、訪問されることが嫌なことにならないように、誠心誠意努めて参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	今後とも満足して頂ける支援ができるよう研鑽に努めて参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果 【保育所等訪問支援】

事業所名		公表日			令和7年	4月	1日	登録数	14	回収率	100%
良創夢発達支援ルーム らいく古賀店		利用児童数			14名	回収数	14	回収できた枚数	14		
	チェック項目	はい	どちらかというくらい	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	86%	7%	0%	・学校の指導にいかしやすいアドバイスで助かっています。 ・支援員さんの質問にお答えすることの方が多かったです。 ・本人の課題となるところへの手立てと一緒に考えて頂き、取り入れることで成果が出た。 ・10円玉貯金や関わり方等、助言を頂いたおかげで、学校でも母から離れて過ごせる日が増えました。 ・体の使い方や本人の目の見え方などを教えてもらうことで、学校で気をつけたり、工夫したりすることが出来ました。 ・子供の実態からお話されておられることが多いので放課後の様子がよく伝わってきます。	今後も具体的にわかりやすい内容をお伝えできるように、努めて参ります。 お子様の現状を把握するため、こちらからご質問させて頂くことがありますが、先生方からのご質問にも真摯にお答えして参ります。何かありましたらいつでもお申しつけ下さい。					
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	86%	7%	0%	・支援員の方の児童に対する関わり方を参考にしています。 ・気持ち引き出し方、整理の仕方、また遊びを取り入れた活動等、らいくさんで行っていることも聞けて良かったです。 ・年度始めなど、手探り状態の時に、的確な支援の仕方をなど教えていただけて助かりました。 ・子供たちのことをよく見てくださっていると思います。 ・いつも指導・助言・アドバイスありがとうございます。	皆様に満足いただけるような支援ができるように、これからも自己研鑽に努めて参ります。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	93%	0%	0%	・支援員の方の児童に対する関わり方を参考にしています。 ・訪問時に、時間を取っていただき、丁寧に相談にのっていただけました。 ・ほとんど回答してくれ、困っていることなど伝えた際も、支援の方法を教えてくださいいただきました。 ・いつも適切に回答していただいております。 ・適宜連携を図れたことで、一貫した指導ができ、とても有り難かったです。	頂いたご質問に対しては、必ずお答えできるように努めております。これからも先生方との連携を密にとらせて頂き、より良い支援に繋げていきたいと思っています。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	64%	29%	0%	・課題を共有することが出来ていますので助かっています。 ・保護者も本人も学校にいる間の不安が減ったように感じています。 ・登校時の表情が明るくなったと思います。 本人も、自信をもって学校生活を送る場面が見られるようになりました。また、共有することで、らいくで練習することができたので助かりました。 ・解消とまではいかないと思いますが、情報の共有はなされていると感じております。 ・児童についてケース会議をひらいていただき、児童に対する理解がよく深まりました。 課題がある時に振り返り学校・事業所で行えたことで利用児童の成長につながりました。 いつも私が迷ったり悩んだりしていることをしっかり聞いて下さり、答えを出してくださるのでありがたく感じています。	その時々課題や困りごとの軽減や解消につながるように、様々な情報を共有し対策や支援の方法を考えさせていただきたいと思っています。何かお困りのこと、気になる点などありましたら、いつでもご連絡ください。					

5	事業所からの支援に満足していますか。	71%	21%	0%	・いつもありがとうございます。 ・らくくさんに通う子どもたちも学校で安心して過ごせることにつながっています。 ・私も支援方法の選択肢が増えもっと支援の仕方を考えたいと思うことにつながっています。 ・常に、親身になって相談にのって下さり、本当に一年間助かりました。引き続きよろしくお願い致します。 ・特支字級の子供たちの居場所作りにご尽力いただきありがとうございます。 ・交流字級の授業の支援にも入っていたいただき、何よりも児童が安心して、学校生活が送れるようになったこと、またトラブル後に児童の気持ちの分析やフィードバックをしていただくことによってより、児童の適応力が向上したと思われれます。 現在、児童は時折トラブルはありますが人との関わり方や自分のコントロールについて学び続け、日々の生活の中で出来ることが増えてきました。ご支援いただいたことに大変感謝しています。 ・いつも丁寧な対応ありがとうございます。困った時にも親身になって話を聞いて頂き、とても助かります。	お子さまの力になれるよう、また先生方のお役に立てるよう、努力していきたいと思います。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・今後もしよろしく願います。 ・児童から聞いたことですが、昨年支援員の先生にお母さんのことを相談したところ、お母さんに言ってほしくなかったことまで伝え困ったと言っていました。 ・来られる日程がはっきり前もってわかると、ありがたいです。 ・いつも子供たちの様子を見ていただいて、ありがとうございます。 ・いつも笑顔で丁寧に指導下さって、心より感謝です。 ・日程を決める時も、すぐに返信がありとても助かりました。ありがとうございます。 ・訪問していただくことで、こちらの困りなどを伝えさせていただく機会があり、こちらとしても大変助かっています。共有することができたので、学校での対処の仕方も話せて良かったです。 ・特にありません。いつもありがとうございます。 ・見に来ていただけてとてもありがたいです。 ・せっかくなのでもう少し訪問の先生方と情報共有する時間が長く取れたらいいなと思います。 ・専門的な知識や技術を持った方に相談できる時間はとても貴重なので、ぜひ有意義な時間を！と願います。					・らくくでは、常にご利用される皆様に最も良い結果を生むと思われる支援を行うように努めております。ケースによっては、お子さんの話したことを保護者にお伝えしなければ重大な問題に発展しかねない場合もあるため、その時々で必要だと思われる対応をするよう注力しております。 ・情報共有する時間を長く取りたいというご希望がございましたら、いつでもその旨をお知らせください。すぐに日程調整しますので、ご連絡なくご連絡ください。	

公表

事業所における自己評価結果

登録数2回収率100%

回収できた枚数2

事業所名		良創夢発達支援ルーム らいく古賀店			公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
・環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	100%	0%	ケースによって必要なものは異なるので、 状況に応じて教材や教員を用意しています 。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	OTとSTが対応しており、適切であると思 えます。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している か。	100%	0%	職員会議の中で業務を振り返り、問題点の 抽出や改善案を挙げ、職員全員、業務改善 に努力しております。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会 を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	実施したアンケートは職員全員で目を通し 、保護者様の評価やご意見を把握したう えで、業務改善に繋げていくよう努めて おります。			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業 務改善につなげているか。	100%	0%	定期的に管理者との面談の時間を設け、職 員一人一人の意見を把握するように努め ております。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につな げているか。	0%	100%	職員一人ひとりが常にご利用者様の利益を 保証することを念頭に置き、知識やスキル の向上に努めております	第三者機関からの外部評価は法律上の義 務ではないことから、現在行っておりま せん。必要性が出て来た際に検討したい と思います。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人 内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修に参加した職員からの伝達講習や専門 職員による内部研修を行っております。ま た、参考になる資料など情報をの得た場 合、全員で共有するように努めています。			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪 問支援計画を作成しているか。	100%	0%	WISC、JSI- R、LCSAなどを用いながら必要に応じてア セスメントを行い、サービス計画を立てる ようにしております。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理 責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の 下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	100%	0%	常にお子さまの最善の利益が得られるよう にと考え、支援計画を立案しております。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当 者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいる か。	50%	50%		訪問支援を初めて受けられるような場合 は、こちらから支援計画をご提示差し上 げる場合もあります。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支 援が行われているか。	100%	0%	支援計画に則り、その時々で必要な支援を 行なっております。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフ ォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むイン フォーマルなアセスメントを使用する等により確認している か。	100%	0%	JSI-R、J- MAP、WISC、LCSAなど各種アセスメント ツールを使用して多角的に現状を正しく把 握し、適切な支援が行えるよう努めて おります。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドライン の「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体 的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画は、保育所等訪問支 援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具 体的内容」を踏まえて策定しております。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支 援が行われているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画を職員間で共有し、 計画に沿った支援を行っております。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支 援を行っているか。	50%	50%	職員間での打ち合わせ、情報交換等、連携 しながら支援に取り組んでいます。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	訪問支援の中で気づいたこと等は必ず個人 記録に記載しています。また、職員全員で 共有すべき事項については申し送り時や会 議の中で最善の支援が行えるよう体制を整 えております。	出勤状況によっては、その日のうちに職 員全員に共有することが難しい場合もあ ります。共有ファイルに記録を残し、全 員で重要な事項は共有できるように配慮 しております。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を 尊重して支援を行っているか。	100%	0%	訪問先の理念や支援手法は、尊重して支援 を行っております。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証 ・改善に繋げているか。	100%	0%	毎回の支援は詳細に記録し、その後の療育 や支援に生かすとともに、支援の検証・改 善にも努めております。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	保護者様の意向は毎回お尋ねするようにしており、柔軟に対応して見直しもするようにしております。	限られた時間の中で、日々忙しくされている支援級担任の先生、交流級担任の先生、特別支援コーディネーターの先生、管理職の先生方皆様のご意向を確認することは難しい場合があります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	ご利用者様の状況に精通した職員が参加しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の関係機関とは、必要な時にすぐに連携できるような体制が整っております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	当事業所は多機能型事業所であり、就学前から学童期、青年期まで継続した支援を行っております。 必要に応じ、関係機関との情報共有を行っております。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	質の向上については常に留意し、助言を求める、研修に参加する機会を設ける等実施しております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	各種協議会の案内が届いた場合、担当職員が参加しております。内容を職員全員が周知徹底するよう努めております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	訪問支援終了後には、ご利用者様の様子や課題の内容について報告し、保護者様と共通理解できるよう努めております。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者様の日常生活での困り事などに対しては、即座に対応するよう努め、不安なく子育てができるように支援することを心掛けています。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	全ての項目に渡って丁寧に説明を行っております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	年度初めには、訪問先施設へご挨拶にお伺いし、事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明を行っております。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	当事業所は個別指導であり送迎も保護者が基本という点を生かして、常日頃より細やかに意向を伺いながらサービスを提供しております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を頂いております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	実施しております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	コロナ等感染症対策として近年は保護者会実施を見送っておりますが、必要に応じて保護者様同士が繋がるような支援をしています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	個別指導ですので、ご本人や保護者様とはご利用日毎に密にお話することが出来ております。また、LINEも開設しておりますので、相談や申し入れには即対応することが出来ます。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページやInstagramを使って活動概要等について発信しております。またLINEを開設して日々の連絡を行っております。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取扱いには十分留意しております。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	LINE等を使いながら、意思の疎通や情報伝達に努めています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	ご相談を頂いた際には、OT,STそれぞれの専門性を生かして、お答えするように努めております。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%	保育所等訪問支援の実施後には、必ず訪問先の先生と、お子さまの現状や課題、対応方法などについての情報交換や意見交換を実施しております。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	保育所等訪問支援の実施後には、必ず保護者様へ、お子さまの園・学校での様子や課題、今後の支援などについてお話するようにしております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	前述通り、個人情報の取扱いには十分留意しております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	ご相談を頂いた際には、OT,STそれぞれの専門性を生かして、お答えするように努めております。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、一体となって策定しております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、安全管理に配慮しながら支援を行っております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットが起きた場合、記録を残して、今後の対応策をスタッフ全員で共有し、再発防止に努めております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	担当職員が研修を受け、それを職員全員が周知できるように伝達講習を行なっています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		重要事項説明書に記載しており、保護者様には必ず説明して了解を得るようにしています。現在のところ、そのような事例は発生しておりません。